

## 阿部典英

Ten-ei ABE

1939年札幌市に生まれる  
現在小樽市在住



1987年ニューヨークで研修。2000年札幌芸術賞。2001年北海道立体表現展代表。2003年阿部典英展—豊穡なる立体/2011年北海道文化賞受賞/2012年地域文化功労者文部科学大臣表彰受賞/2012年阿部典英のすべて(北海道立近代美術館)/心の原風景—海への回帰 阿部典英展(市立小樽美術館)/2016年阿部典英展—ネエ ダンナサンあるいは月・影・深(中国・黒龍江省美術館)/2017年アジア国際交流展—韓国・日本・中国(光州広域市・韓国)/2019年北海道黒龍江省国際交流美術展(北翔大学札幌円山キャンパスギャラリー)/2021年北海道功労賞。

## 荒井善則

Yoshinori ARAI

1949年長野市に生まれ、のち旭川に転居。現在長野市在住。

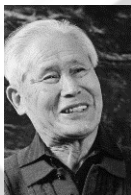


1976年アーティストユニオン北海道シンポジウム(旭川)/JAPAN NOW(USAアートコミッションG)/1983年旅する現代美術・オペレッタ+アートラボ(旭川)/1984年北海道の美術 85(87, 88年)。北海道現代作家展/1985年CIRCULATION85(旭川・北見)/1986年プリントアドベンチャー-86, 87, 90(北海道・韓国)/1987年ダブレスト国際展(ハンガリー)/1988年グレンヘン国際版画トリエンナーレ(スイス)/1989年JAPAN—インパクト・アートノウ 89 韓国美術館(ソウル)/ニュージーランド日本版画展(ウエリントン)/1990年JAPANESE ARTIST 日本人作家7人展(マドリッド)。

## 一原有徳

Arinori ICHIHARA

1910年徳島県に生まれ、のちに真狩、次いで小樽に転居。  
2010年逝去。



1960年神奈川県立近代美術館作品買上。東京画廊で個展開催。1962年東京国際版画ビエンナーレ招待出品。ニューヨーク近代美術館作品買上。1975・79年北海道秀作美術展優秀賞受賞。1981年北海道現代美術展北海道立近代美術館賞受賞。1990年北海道文化賞受賞。1996年地域文化功労者の文部大臣表彰。1998年一原有徳・版の世界展。2001年北海道功労賞受賞。2011年市立小樽美術館3階に一原有徳記念ホール開設。

## 岡倉佐由美

Sayumi OKAKURA

1962年岩見沢市に生まれる。  
1988年より札幌市在住。



1983年十色展/1984~86年ブラン・オブ・リポソーム展Ⅰ~Ⅲ/1985年20世紀少年展覧会/1989年まなざしのちから展Ⅰ/1990年まなざしのちから展Ⅱ/1991年女たちのランドスケープ展/1993年バスタイム展/1994年52の愛の形展/1995年職人気質展/1998年コンタミネーション/2001年Reopen-彩会-/2002年THE LIBRARY 2002-Exhibition of book object-/2003年北海道・現代写真家達の眼'03七人の写真家による彩の流星群/2017年イメージのロゴス展

## 佐渡富士夫

Fujio SADO

1938年小樽市に生まれる。  
本市で逝去



1977・78年モダンアート展/1978年北海道現代作家展(1980, 81, 82, 84, 86, 88年)/1981年はこで考える遊びの木箱展/1983年北海道抽象派作家展/1984年木の椅子は語る展/シーサイド展/立体の地平展/1986年北海道の美術イメージ群/1991年小樽現代美術交流展/1994年札幌アヴァンギャルドの潮流展/1999年Northern Exposure New Art from Japan/2000年小樽現代美術交流展/2003年Pacific Rim Art Now/2010年かなた Art Circulation(11, 12, 13)/2011年ハルカヤマ芸術要塞(13, 15)/2018年佐渡富士夫大回顧展

## 千葉 豪

Takeshi CHIBA

1932年小樽市に生まれる。  
現在小樽市在住



1957年道展奨励賞/1958年道展北海タイムス賞/1959年道展会友/1961年会員/自由美術協会展(~59年)出品/1965年無理性芸術株式会社主催「今日の正常位」展/1979年北海道 Today 展/1981・84・87年札幌トリエンナーレ/1982~92年小樽市美術館(市展)委員長/1985年環太平洋国際美術展招待(ソウル)/JAPAN KOREA IN CANADA'85展(カナダ・ウインザー市)/1992年小樽職人の会結成/1993年サッポロビル恵庭工場絵画展/1994年無形文化財紋章上絵保存会理事/1998年札幌美術展(〜1998, 2000)。道東の美術展/2000年札幌ドーム屋外オブジェ制作

## 檜原武正

Takemasa NARAHARA

1942年北海道広尾郡広尾町に生まれる。現在札幌市在住



1978年行動美術展(以後毎年出品、85年行動美術賞、86年会員)/1981~89年北海道抽象派作家協会展/1982年行動美術展新人選抜展/北海道現代美術展/1984年立体の地平展/1986年イメージ・群—北海道の美術。現代美術選抜展(文化庁)/1987年イメージ・響—北海道の美術、新人賞/1989年ART EVENT IN SAPPORO89 界川遊行/1990年子どもと親の美術館/1991年札幌時計台文化会館美術大賞展。北の創造者たち91 金属のフィールド・今、芸術の森美術館賞/1992年札幌美術展(〜1998, 2000)。道東の美術展/2000年札幌ドーム屋外オブジェ制作

## 監修

### 柴橋伴夫

Tomoo SHIBAHASHI



1947年北海道岩内に生まれる。詩人・美術評論家。1974年より詩と批評「熱月テルミドール」編集委員を経て、「21ACT」アートコラム担当、1993年「美術ペン」編集人となる。1979年文化核「ゆいまる」を代表菱川善夫、中森敏夫と結成。「ゆいまる」主催で、「南島幻視行 北村皆雄映像個展」「アイヌ舞踏曲コンサート」「大野一雄舞踏—石狩の鼻曲がり」などを企画した。また、自ら道内美術の活性化を企図し、「ダダ展」「立体の地平展」「抽象の現在展」「日本画の現在展」「季の会」「コラージュの冒険展」を開催。美術評論を軸に芸術家の評価をライフワークにしている。  
●現在：荒井記念美術館理事、北海道美術ペンクラブ同人、「美術ペン」編集人、文化塾「サッポロ・アートラボ」代表。現在、著作集「ミクロコスモス」刊行中。

## Performance

### <ダダ>への招待状～ 岡倉佐由美とともに

岡倉佐由美×柴橋伴夫

アシスタント—佐藤ひかり

朗読者—内田よしえ・須田美帆

#### 【手順】

1. 柴橋伴夫「SEVEN DADA'S BABY」のためのメッセージの断片を読み上げる。
2. 参加者は白い布に考えてきたメッセージを書き、岡倉の白いブラウスに貼り付ける。
3. 岡倉はゆっくりとロボットのように動き始める
4. 途中でアトランダムに白い布のメッセージを読み上げる
5. アシスタントはダダのメッセージ、あるいは詩を読み上げる
6. 3F 一原記念ホールで岡倉は白い布を外し、床へ落して横たわる



コスチュームプラン  
Sayumi OKAKURA

※参加者はあらかじめ「布に書く言葉」を考えてご来場ください。

## Guitarist

### 竹形貴之

Takayuki TAKEGATA



会場：3階  
一原有徳記念ホール

千歳市に生まれる。日本大学芸術学部音楽学科を経て渡独し、ドイツのケルン国立音楽大学を卒業。名古屋ギターコンクール優勝、スペインギター音楽コンクール第2位、ロッズ国際ギターコンクール第3位(ポーランド)、ベルリン国際ギターコンクールファイナリスト(ドイツ)、千歳市民文化奨励賞、日本大学総長賞受賞。STVラジオ、NHK総合テレビに出演。名誉副総裁・秋篠宮妃殿下を迎えた「日本赤十字北海道大会」で演奏する。